




洗面器・手洗器 取扱施工説明書



このたびは、洗面器（手洗器）をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
施工前・使用前に必ずお読みください。お読みになった後は、必ず保管してください。

安全上のご注意



施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
施工内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

-  気をつけていただきたい「注意」を表します。
-  必ず実行していただく「強制」を表します。
-  してはけない「禁止」を表します。

施工上のご注意

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸送中の破損がないか、施工前に確認してください。 ● 施工の際、洗面器（手洗器）に物をのせたり、物を落とす、たたくなど強い衝撃を与えた場合、破損及び故障の恐れがあります。 ● 本品と組合せて使用する水栓金具は、必ず止水栓を適切に設置してください。 ● 施工後の確認は必ず行ってください。
 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗面器（手洗器）は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。 ● 洗面器（手洗器）とカウンターのすきま、排水金具の指定位置には必ずシリコンコーキングなどのシール材（防カビタイプ）を塗布してください。漏水により物品に損害を与える恐れがあります。

使用上のご注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗面器（手洗器）に熱湯や油、シンナーなどの溶剤を流さないでください。破損及び故障の恐れがあります。また、漏水により物品に損害を与える恐れがあります。 ● 洗面器（手洗器）に物をのせたり、強い衝撃（物を落とす、たたくなど）を与えないでください。破損の恐れがあります。 ● 洗面器（手洗器）にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。 ● 洗面器（手洗器）にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れ等のケアをしてください。 ● 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。 ● 金属類（ヘアピン・カミソリの刃など）を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。 ● スチームクリーナーは、製品が破損する原因となりますので使用しないでください。

取付手順1 排水金具の取付

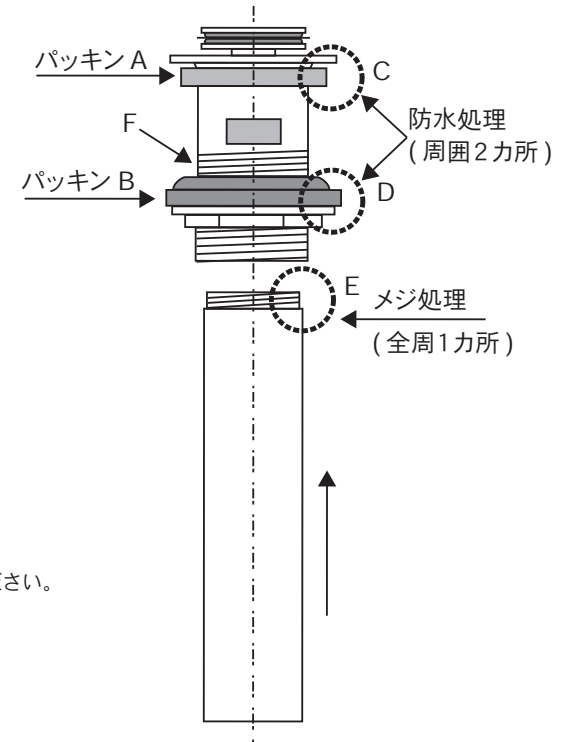
1. 排水金具（別売）を取り付けます ※詳細は器具の説明書を参照してください。
※商品の機能が十分に発揮されるように、下記の内容に沿って正しく取り付けてください。



排水金具取り付け時には水漏れを防ぐため、横穴あり（オーバーフロー有り）、無しにかかわらず、必ず下記のような処理を行ってください。

排水金具取り付け手順

- ① 取り付ける洗面器に排水金具を仮付けし、排水金具との相性を検証します。
- ② 手順①で排水金具の上部目皿が洗面器から浮き出すぎる場合は「パッキンA」を外します。問題が無ければそのまま③を行います。
- ③ 排水金具を取り外しCとDの2か所に防水処理材を塗布します。
※防水処理材推奨品 TOTO Pシール、市販のシリコンコーキング材
- ④ もう一度排水金具を取り付け、六角ナットをしっかりと本締めします。
※この場合、事前にFのネジ山にシリコン材を塗布して防水処理を行ってください。
- ⑤ 最後にEの箇所メジ処理を施し手締めで取り付けます。この直管は必ず取り付けてください。



- **メジ処理材推奨品**
TOTO Pシール、市販のシリコンコーキング材シールテープ、ヘルメシール

補足事項

- 排水金具は横穴有り（オーバーフロー有り）、無しに関わらず、基本的には上記の方法にて取り付け施工してください。
- 上記方法を怠りますと水漏れる可能性が格段に上がります。特に洗面器と排水金具が異なる製造メーカーや、製造国が異なる場合には特にご注意ください。
- 手順②は、相性の悪いパッキン（洗面器と排水金具との角度の相性）は使用しない方が良いでしょう。特に輸入洗面器の場合、排水穴角度とパッキンAとの相性が合わない場合もあります。その場合、「パッキンA」を切って調整するか、取り外してPシールやシリコンなどで防水処理を行ってください。尚、「パッキンB」は絶対はずさないで下さい。

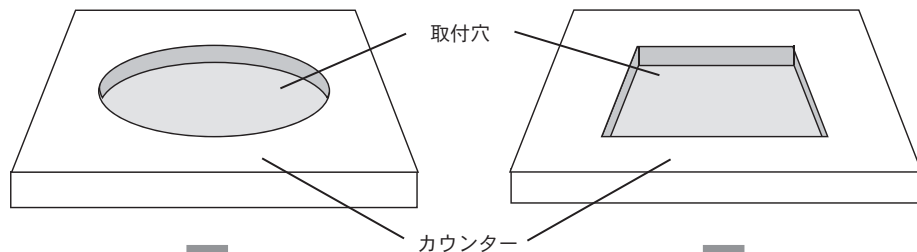
取付手順 2 洗面器の設置

2. 洗面器 (手洗器) を取り付けます。

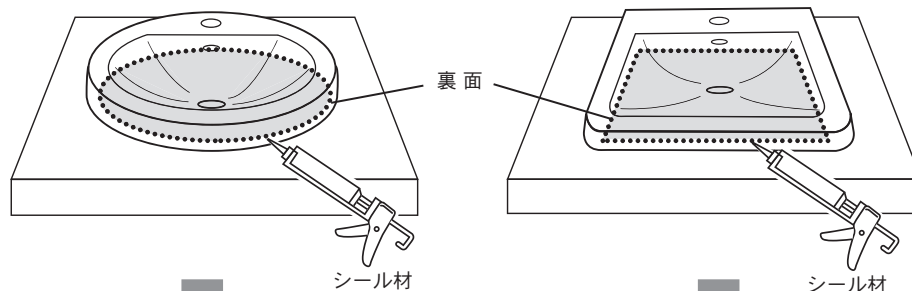
オーバルタイプ (丸型) 洗面器

スクエアタイプ (角型) 洗面器

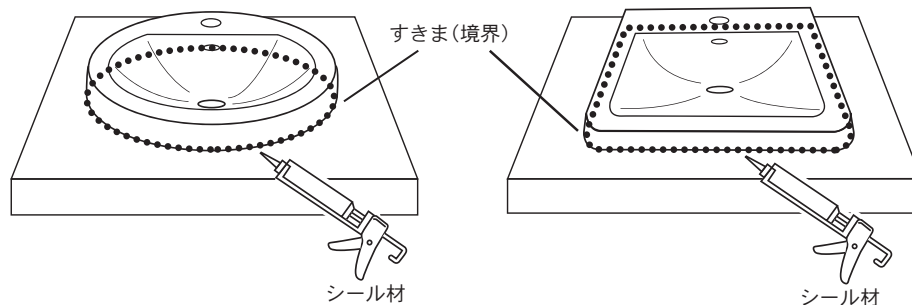
- ①洗面器 (手洗器) を取り付けるカウンターに指定の取付穴をあけます。
※取付穴は洗面器 (手洗器) の仕様図面を参照してください。



- ②洗面器 (手洗器) の裏側 (カウンターに設置する面) にシール材を塗布し、カウンターに設置します。



- ③洗面器 (手洗器) とカウンターのすきま (境界) にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。



取付手順 3 水栓金具の取付

3. 水栓金具 (別売) ・排水トラップを取り付けます。

※詳細は器具の説明書を参照してください。



施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態などでその場を離れないでください。漏水により物品などを濡らす恐れがあります。

取付手順 4 施工後の確認

- ①洗面器 (手洗器) の取付状態の確認

ガタツキがないかを確認します。

- ②水栓の吐水量の確認、及び調査 (注*)

水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。

※水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。

※吐水量が排水能力を上回る (あふれる) 場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。

- ③漏水、排水の確認

通水・排水経路の接続各部に水もれがないか確認をします。

排水がスムーズに行われるか確認をします。

※詳細は、各器具の説明書を参考にしてください。



メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認、及び調整を行ってください。(注*)

発売元

株式会社北海道トレーディングサービス

〒003-0869 北海道札幌市白石区川下2525-1

Tel:011-595-8701 Fax:011-595-8702

HP:<http://hokkaido-ts.com>

この取扱施工説明書の無断転載・複写を禁じます。